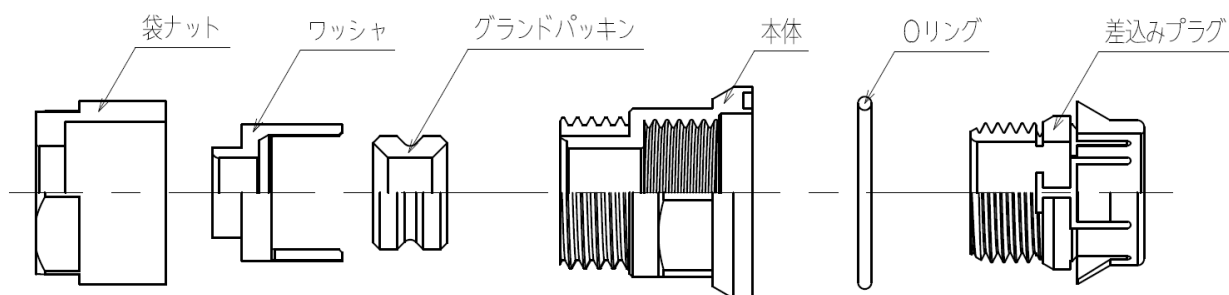
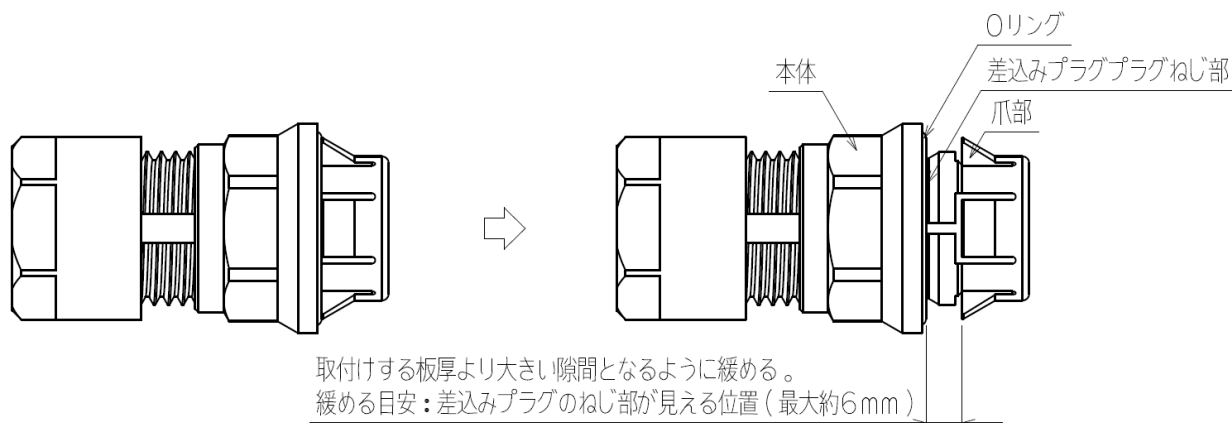


ケイグランド E2BGQ コネクタとケーブルの施工は下記の要領で行って下さい。

1. ケイグランド E2BGQ コネクタ部品構成



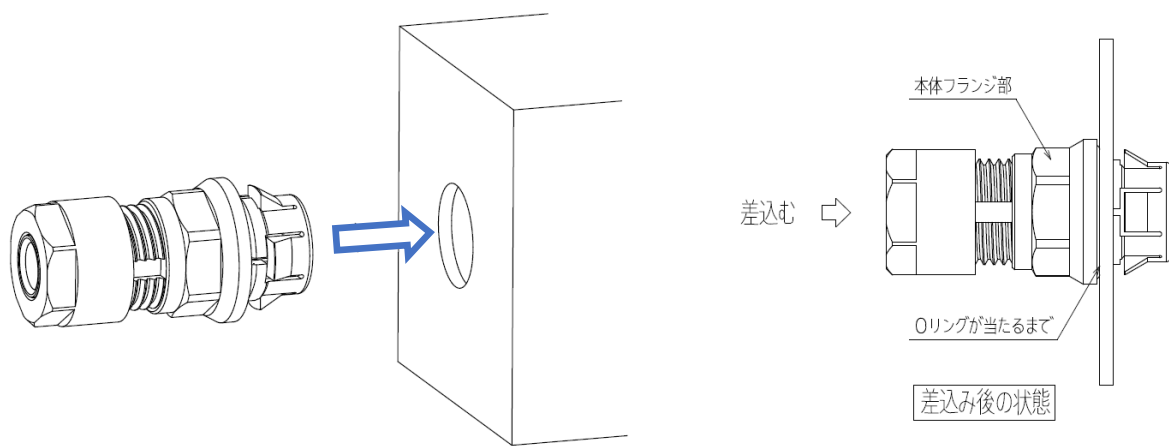
2. 本体と差込みプラグのねじを緩めます。



- ☆ 本体の O リングと差込みプラグの爪部の隙間が取付けする板厚以上の隙間となるように本体から差込みプラグを緩めて下さい。
- ☆ 緩める際の目安は、差込みプラグのねじ部が見える位置まで緩めて下さい。ねじを緩めた際の限界 6mm の位置です。
- ☆ 限界の位置を超えて緩めると本体と差込みプラグが脱落する恐れがあり、次工程の作業性が悪くなりますので必ず勘合状態として下さい。

☆ 板厚適合範囲：0.8～5.0 mm

3. コネクタをボックスに差込みます。



☆ 本体の O リングがボックスに当たるまで手で差し込んで下さい。差込みに問題がなければ『カチッ』と音がすると共に、コネクタを手で引張っても抜けない状態となります。

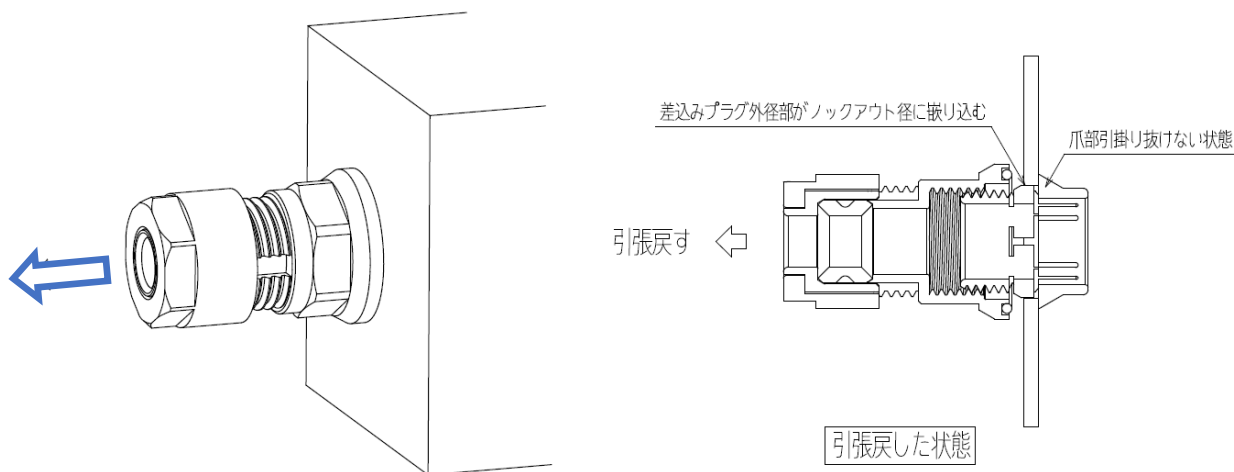
☆ 差込みに問題がある場合は、コネクタを手で引っ張ると抜けてしまいますので再度手順 2 を確認のうえ差込みを行って下さい。

☆ **推奨ロックアウト径：φ22.0**

☆ **取付け可能なロックアウト径：φ21.8+0.5**

注 ノックアウトの加工は、公差内であればレーザー加工、プレス加工、ホールソー加工であれば取付け可能でノックアウトの挿入面、内面にバリがないことを確認して差込みを行って下さい。バリにより差込み不可や発塵する恐れがありますのでご確認のうえご使用下さい。

4. コネクタを引張戻します。

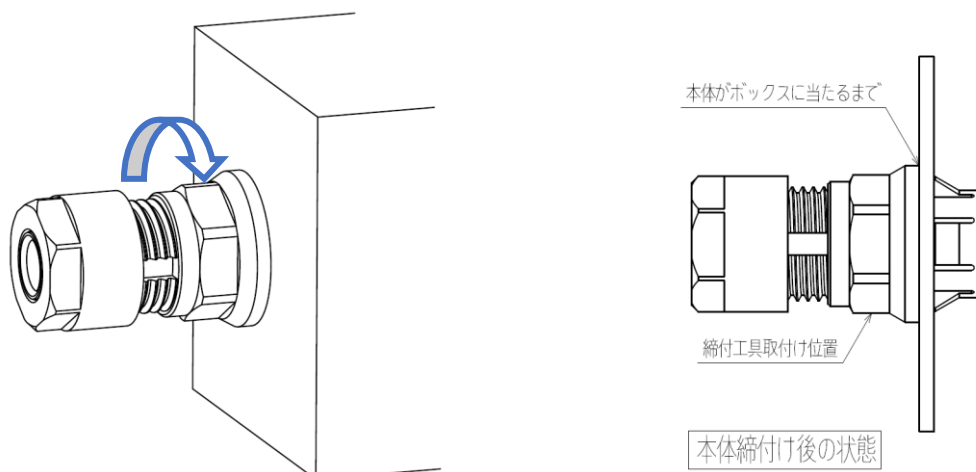


☆ コネクタを引張戻すことで差込みプラグの外径部がロックアウト径に嵌り込み、仮固定状態となります。

☆ コネクタを上下左右に動かし、大きなガタつきがない事を確認して下さい。固定が不十分ですとガタつきが大きく次工程で本体を締付けする際に供廻りをして締付け出来ない可能性があり防水性能に影響いたします。

注 バリにより引張戻す際に発塵する恐れがありますのでご確認の上ご使用下さい。

5. 本体を締付けします。



☆ 本体の締め付けは、手で強く締付けた後、縦型アルミモーターレンチ（株スーパーツール製）等を用いて行い、O リングが潰れて本体がボックスに当たるまで締付けを行って下さい。ボックスに当たってから過剰に締め続けると差込みプラグが破損することがあります。

☆ 参考締付けトルク：1.0 N・m

※注 本体の締め付けには、プライヤーやチェーン tong 等を使用しないで下さい。本体が強く締まりすぎて差込みプラグが破損することがあります。

6. コネクタにケーブルを仮止めします。

☆ コネクタの袋ナットを少しゆるめ、ケーブルを必要な長さまでコネクタに挿入し、袋ナットを手でねじ込み、仮止めしてください。

7. 袋ナットを本締めします。

☆ 袋ナット締め付け時には、必ず本体フランジ部をモーターレンチ等で固定し、袋ナットを締め付けて下さい。

☆ 袋ナットの締め付けは、縦型アルミモーターレンチ（株スーパーツール製）等を用いて行い、ケーブルを手で引っ張っても抜けない程度にしっかり締め付けて下さい。

※注 袋ナットの締め付けには、プライヤーやチェーン tong 等を使用しないで下さい。袋ナットが強く締まり過ぎて袋ナットのねじ飛び、破損が生じることがあります。

8. ハーネス品接続時の注意事項

☆ ハーネス品を接続の場合は、袋ナットが締め付けされケーブルがホールドされている状態で手順 5 の本体締付けを行うとケーブルが捻じれて断線する可能性があります。

本体を締め付ける前には一旦袋ナットを緩めてケーブルがホールドされていないことを確認したうえで手順 5 より施工を行って下さい。